



家庭用

コーヒーメーカー ドリップタイプ

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

日本国内 100V 専用

交流 100V 以外の電源では
使用できません。

ご意見をお寄せください。

<http://www.tiger.jp/>

品番

ACC-S²型

もくじ

はじめに

- 1 安全上のご注意..... 2
- 2 各部のなまえと付属品..... 6
- 3 はじめて使うとき・
しばらく使わなかったとき..... 7

使いかた

- 4 コーヒーをいれる
(サーバーにドリップ)..... 8
- 5 コーヒーをいれる
(カップに直接ドリップ)..... 11
- 6 お手入れする..... 13

困ったときは

- 7 故障かな?と思ったら..... 14

その他

- 消耗品・別売品のお買い求めに
ついて..... 15
- 仕様..... 15
- 保証とサービスについて..... 15



1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

- ※ここに表した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
- ※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷^{*1}を負うことが想定される内容を示します。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害^{*2}を負うことが想定されるか、または物的損害^{*3}の発生が想定される内容を示します。

- *1 重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- *2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。
- *3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



注意

△記号は、警告、注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。



禁止

○記号は、禁止の行為であることを示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。



指示

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を示します。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。



警告



分解禁止

改造はしない。
修理技術者以外の方は、分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。



禁止

交流 100V 以外では使わない。
（日本国内 100V 専用）
火災・感電の原因。



必ず実施

定格 15A 以上のコンセントを
単独で使う。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。



禁止

電源コードは、破損したまま使わない。また、電源コードを傷つけない。
（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）
火災・感電の原因。



必ず実施

差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。



必ず実施

差込プラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。



禁止

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。
感電・ショート・発火の原因。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。



禁止

フィルター・コーヒーサーバー・カップトレイなしで使わない。
やけどや故障のおそれ。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれ。

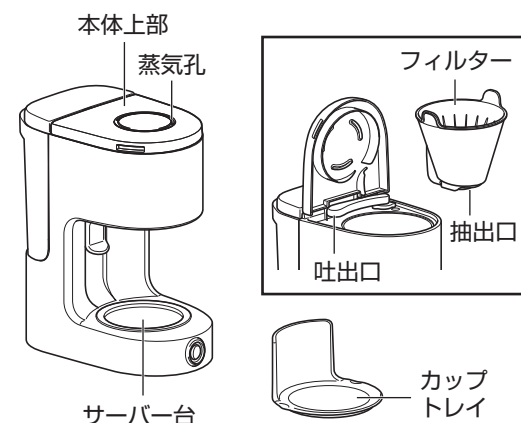


警告



接触禁止

使用中や使用後しばらくは本体上部・吐出口・抽出口・蒸気孔・フィルター・サーバー台・カップトレイなどの高温部に触ったり、顔などを近づけない。
やけどをするおそれ。特に乳幼児には触らせないように注意する。



水ぬれ禁止

本体は、水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電のおそれ。



禁止

使用中は、本体ふたをあけない。
吐出口が動き、抽出口以外からお湯がこぼれてやけどのおそれ。



必ず実施

異常・故障時には、直ちに使用を中止する。
そのまま使用すると、火災・感電・けがのおそれ。
〈異常・故障例〉

- ・ご使用中、電源コード、差込プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
- ・水タンクや本体から水もれする。
- ・その他の異常や故障がある。

すぐに差込プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する。

⚠ 注意

 使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

 必ず差込プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火するおそれ。

 タコ足配線はしない。
火災のおそれ。

 不安定な場所や、熱に弱いテーブルや敷物などの上では使わない。
火災やテーブル・敷物を傷める原因。

 壁や家具の近くでは使わない。
蒸気や熱で、壁や家具を傷め、変色・変形の原因。
キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意する。

 倒したり落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。
故障や、水タンク・水タンクふた・カップトレイ・コーヒーサーバーなどが破損してけがをするおそれ。

 コーヒーサーバーは、専用のもの以外では使わない。
お湯があふれて、やけどや故障するおそれ。また、テーブルや敷物を汚す原因。

 カップトレイを使う場合、付属のコーヒーサーバーは使わない。
やけどや、テーブル・敷物を汚す原因。

 カップに直接ドリップする場合、必ずカップトレイを使用する。
お湯があふれて、やけどや故障するおそれ。また、テーブルや敷物を汚す原因。

 カップに直接ドリップする場合、抽出後に保温しない。
故障や火災の原因。

 指定のカップ以外では使わない。
(P.6、11)
お湯があふれて、やけどや故障するおそれ。また、テーブルや敷物を汚す原因。

 抽出中にコーヒーサーバー・カップ・カップトレイをはずさない。
やけどや、テーブル・敷物を汚す原因。

 コーヒーサーバーやカップトレイをのせたまま本体を動かさない。
やけどやけがの原因。

 コーヒーサーバーの中にコーヒーが入っていない状態でのカラだきはしない。
故障や火災の原因。

 コーヒーサーバーを直接火にかけたり、電子レンジで使わない。
破損して、やけどやけがの原因。

 コーヒーサーバーを冷蔵庫や冷凍庫に入れない。
破損して、けがの原因。

 水タンクに水が入っていない状態でのカラだきはしない。
故障や火災の原因。

 続けて使用するときには、本体が冷めるまで(約10分)待つ。
すぐに水を入れたり、動かしたりすると、蒸気が噴出してやけどをするおそれ。

 本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。
ショート・感電のおそれ。

 お手入れは、本体が冷えてから行う。
高温部にふれると、やけどのおそれ。

末永くご使用いただくためのご注意

- 火気の近くでは使わない。
変形・故障の原因。
- 業務用として使わない。
故障の原因。
- 水タンクには水以外のものを入れない。
故障の原因。
- 指定の大きさ以外のペーパーフィルターを使わない。
うまくドリップできない・故障・コーヒーがあふれる原因。
- 水タンクに水を入れてセットした後は、水タンクをはずさない。
本体内部にたまった水が逆流して、水もれや故障の原因。
- 水タンクに水を入れたまま放置しない。
故障や変色・におい・腐敗の原因。
- フィルター・コーヒーサーバー・カップトレイは使うたびにお手入れする。(P.13) においの原因。
- ミネラルウォーター(特にヨーロッパ産などのミネラルウォーター)を使用した場合は、よりこまめにお手入れする。(P.13、14)
本体内部にカルシウム分が付着し、抽出時間が長くなったり、最後までドリップできなくなる場合があります。また、付着したカルシウム分がはがれて本体内部のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因。

コーヒーをおいしく楽しむためのポイント

豆や粉は必要な分だけ買う。 豆や粉を保存するときは密 なるべく早めに飲みましょう。
1週間から10日程度で使いきる 封して冷蔵庫に。 冷めたり、風味がそこなわれてしまいうので、早めに飲みましょう。
量を買うようにしましょう。また、 高温多湿に弱く香りがとびやすいので、密封できる容器に入れ、冷蔵庫など低温のところで保存しましょう。

この取扱説明書では、コーヒー豆を挽いた後のものを「コーヒー粉」と表記しています。

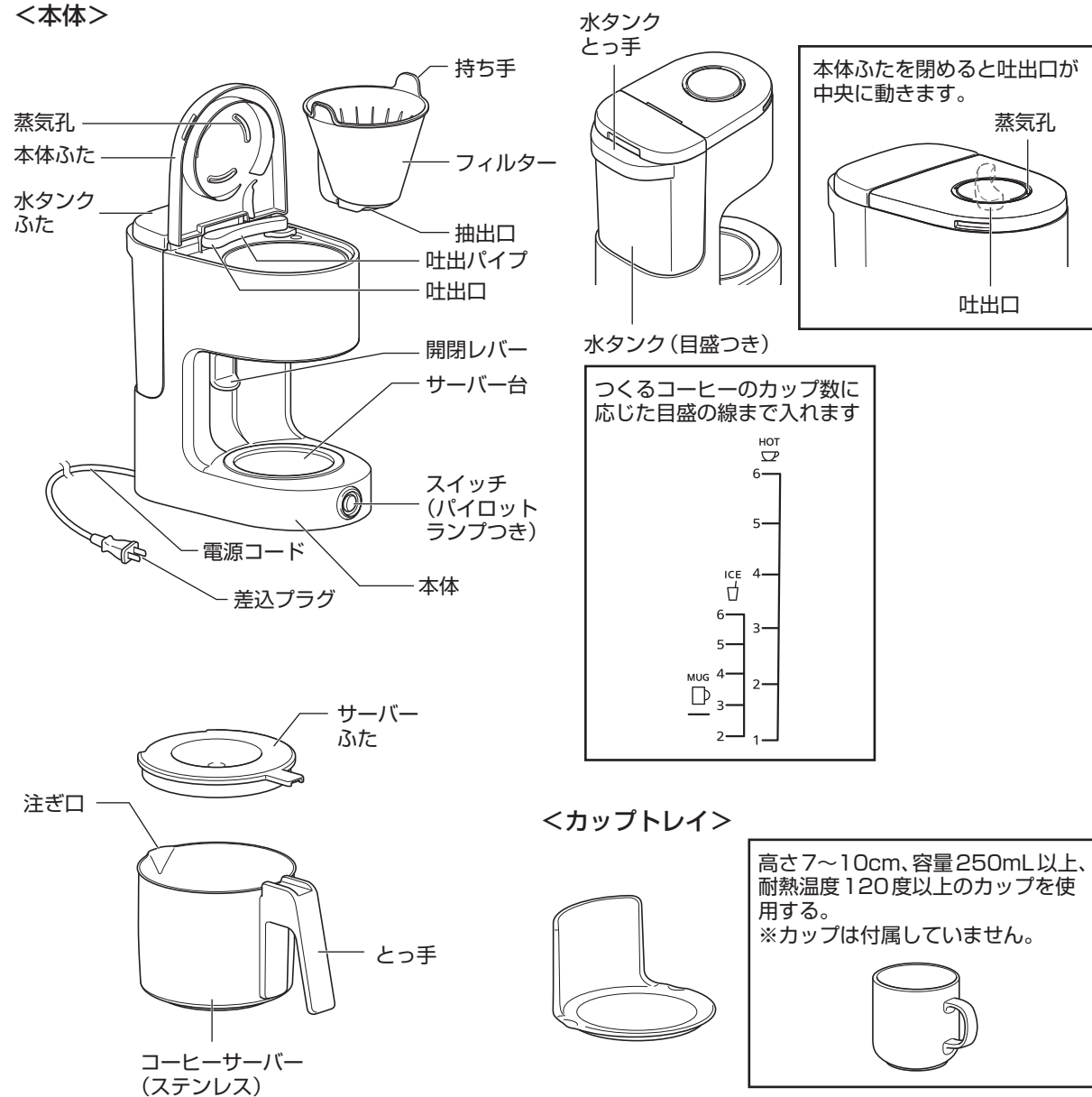
代表的なコーヒー豆の種類と特長

中味	酸味	苦味
・ブルーマウンテン	・キリマンジャロ	・マンデリン
・ブラジル	・モカ	・ロブスタ
・サルバドル	・コロンビア	
	・グアテマラ	
	・ハワイコナ	

2 各部のなまえと付属品

箱をあけたら、まず確認してください。

<本体>

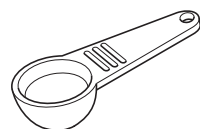


<カップトレイ>

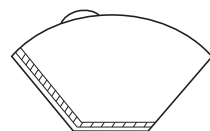


付属品

<計量スプーン> すり切り1杯 約7g



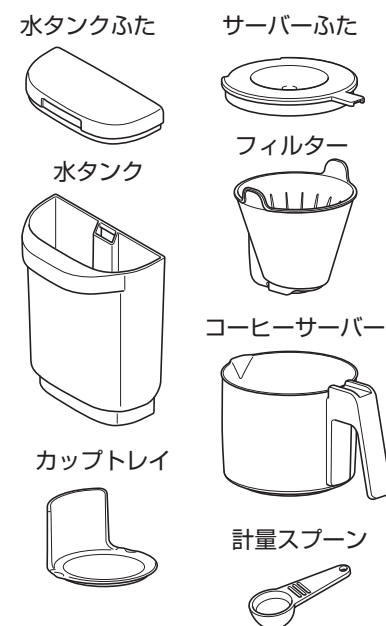
<ペーパーフィルター> 市販のものも使えます。 (サイズ1×2または102)



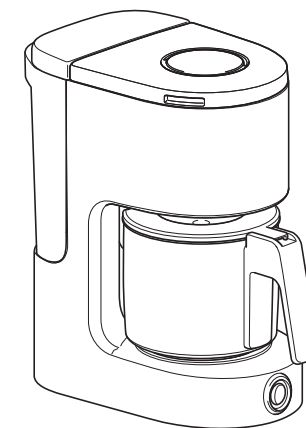
3 はじめて使うとき・しばらく使わなかったとき

各部品を水洗いして、ドリップで本体内を洗浄してください。
コーヒーメーカーをきれいにするのが、おいしいコーヒーづくりの第一歩です。

1 本体以外の部品を水洗いする (P.13)



2 本体内を洗浄するために、1~2回ドリップする (P.8~10)



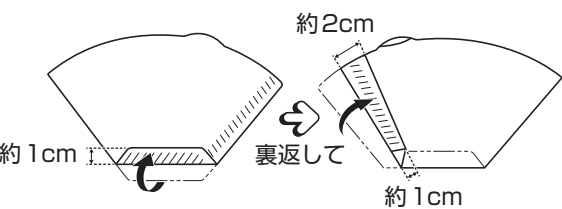
水は水タンクの の目盛「6」まで入れる。
コーヒー粉やペーパーフィルターはセットしない。
ドリップ後のお湯はすてる。

ご注意

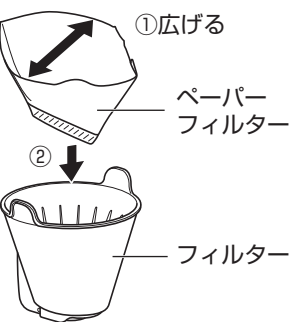
- 水タンク以外に水を入れない。

4 コーヒーをいれる(サーバーにドリップ)

1 ペーパーフィルターを折る



2 ペーパーフィルターをフィルターにセットする



- ご注意**
- ペーパーフィルターがフィルターからはみ出さないように奥まで収まる位置にセットする。

3 付属の計量スプーンでコーヒー粉をペーパーフィルターに入れ、上面をならす

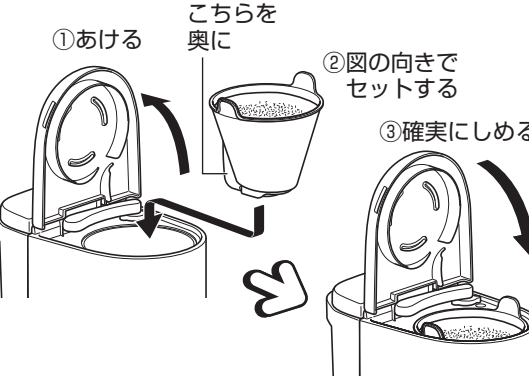


アイスコーヒーをつくるときは、アイス用の粉を使います。

4 本体ふたをあけ、フィルターを本体にセットする

コーヒーサーバーを本体にセットする前に、必ずフィルターを先に取りつけてください。

- ご注意**
- フィルターは浮きがなく本体に確実に入っていることを確認する。本体ふたがしまらない、コーヒーがあふれるなど故障の原因。
 - ペーパーフィルターはフィルターの上からはみださないようにセットする。本体ふたは確実にしめる。そうしない場合、本体内の吐出口が正しく作動せず、お湯がこぼれたり、コーヒーがあふれるおそれ。またコーヒーが薄くなる原因。



コーヒー粉を入れる目安

コーヒー粉の量はお好みにより加減してください。カップ数より少ない量はつくりません。

<ホットコーヒー>

カップ数	コーヒーカップ 約120mL
	コーヒー粉の量 (付属の計量スプーンすり切り)
1カップ	1.5杯
2カップ	2杯
3カップ	3杯
4カップ	4杯
5カップ	5杯
6カップ	6杯

<アイスコーヒー>

カップ数	カップ 約60mL
	コーヒー粉の量 (付属の計量スプーンすり切り)
1カップ	—
2カップ	2杯
3カップ	3杯
4カップ	4杯
5カップ	5杯
6カップ	6杯

5 サーバーふたを取りつけ、コーヒーサーバーを本体に正しくセットする

コーヒーサーバーは、開閉レバーを押す位置に確実にセットする。開閉レバーが押されることで抽出口が開き、コーヒーがドリップされます。



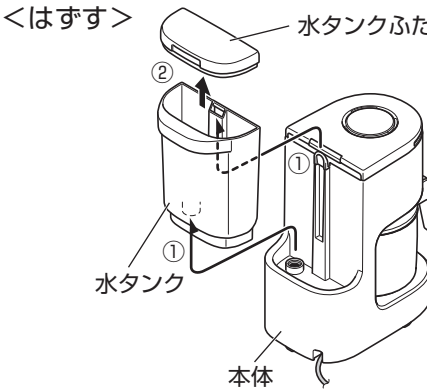
- ご注意**
- コーヒーサーバーは奥まで確実にセットする。セット位置がずれているとコーヒーがこぼれる原因。
 - サーバーふたは必ず取りつける。取り付けないとコーヒーがこぼれる原因。
 - フィルターよりも先にコーヒーサーバーをセットしない。開閉レバーが正しく作動せず、フィルターの抽出口が開かなくなりコーヒーがあふれる原因。

6 水タンクに水を入れ、本体に確実にセットする

- ご注意**
- 水タンクをセットしたあとは、本体からはずさない。本体内にたまった水が逆流して、水もれや故障の原因。
 - 水タンクにお湯や熱湯を入れない。故障の原因。
 - 目盛「6」を超えて水を入れない。コーヒーサーバーからコーヒーがあふれるおそれ。
 - 水タンクを本体にセットしたまま水を入れるとコーヒーサーバーからコーヒーがあふれるおそれ。
 - 水タンクは確実にセットする。水タンクが傷むおそれ。

水を入れるときは、必ず水タンクを本体からはずす。本体にセットしたまま水を入れると、水管に水が流れ込み、抽出量が多くなります。

つくるコーヒーのカップ数に応じた目盛まで水を入れる。(P.6)



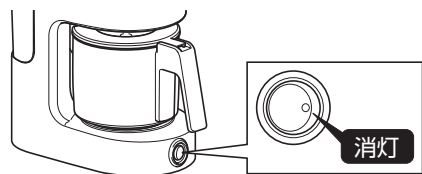
<つける>



使
い
か
た

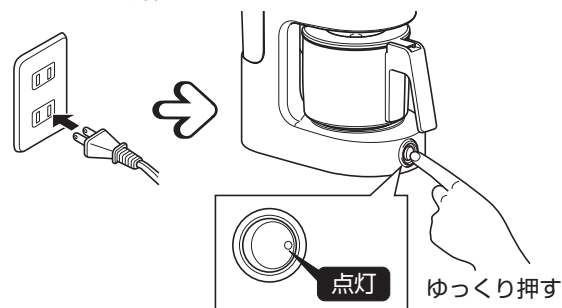
4 コーヒーをいれる(サーバーにドリップ)

7 スイッチが「OFF」になっていることを確認する(パイロットランプが消灯)



8 差込プラグをコンセントに差し込み、スイッチを「ON」にしてパイロットランプの点灯を確認する

パイロットランプが点灯してから約30秒後にドリップが始まります。



ご注意

- ドリップ中に本体ふたをあけない。吐出口が動き、抽出口以外からお湯がこぼれてやけどのおそれ。



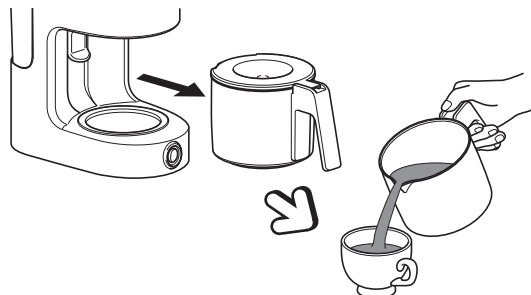
- ドリップ中に差込プラグを抜かない。誤って抜いた場合は、いったんスイッチを「OFF」にして、手順8からやり直す。
- ドリップを途中で止めるときは、スイッチを「OFF」にする。しばらくはドリップが続くため、お湯や蒸気が完全に止まるまで待つ。

9 お湯や蒸気が完全に止まったら、スイッチを「OFF」にしてコーヒーを注ぐ

ご注意

- 水タンクの水がなくなっても、しばらくはドリップが続くため、お湯や蒸気が完全に止まるまで待つ。
- 使用中や使用後しばらくはサーバー台を触らない。やけどのおそれ。

コーヒーサーバーを取り出し、サーバーふたをはずして、カップなどに注ぎます。



- アイスコーヒーをつくるときは、グラスに8分目まで水を入れてから、コーヒーを注ぎ、かきまぜて冷やす。
- 熱めのコーヒーを飲みたいときは、あらかじめ熱湯などで温めておいたカップに注ぐ。
- 保温するとき、スイッチを「ON」のままにする。保温時間は約15分までを目安にする。

10 差込プラグをコンセントから抜く

11 冷めてからフィルターを取り出す

ドリップ後のコーヒー粉はペーパーフィルターごと取り出す。

ご注意

- ドリップ後に本体上部にたまったお湯は、冷めてからふき取る。

できあがり時間の目安

約2分～11分でできあがります。

できあがり時間は、室温・水量・コーヒー粉の量などによって変わります。

続けてつくるとき

- ① 本体が冷めるまで約10分待つ。
- ② 必ず最後に水タンクをセットして再度ドリップする。

5 コーヒーをいれる(カップに直接ドリップ)

お使いのカップに、1杯分のコーヒーを直接ドリップすることができます。

1 ペーパーフィルターをフィルターにセットする(P.8)

2 付属の計量スプーンでコーヒー粉をペーパーフィルターに入れ、上面をならす(P.8)

コーヒー粉を入れる目安

マグカップ(約180mL) 1杯分として、付属の計量スプーンすり切り1.5杯が目安です。

3 フィルターを本体にセットする(P.8)

ご注意

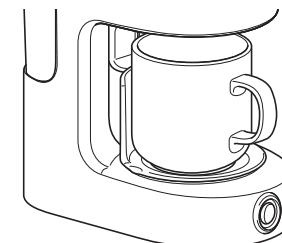
- フィルターは浮きがなく本体に確実に入っていることを確認する。本体ふたがしまらない、コーヒーがあふれるなど故障の原因。
- ペーパーフィルターはフィルターの上からはみださないようにセットする。本体ふたは確実にしめる。そうしない場合、本体内の吐出口が正しく作動せず、お湯がこぼれたり、コーヒーがあふれるおそれ。またコーヒーが薄くなる原因。

4 カップトレイを図の向きで本体にセットする

セットしたカップトレイで開閉レバーが押されていることを確認します。開閉レバーが押されていないとコーヒーがあふれて、やけどや故障の原因。

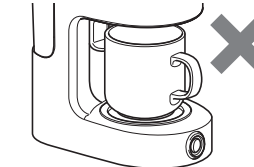


5 カップをカップトレイの中央にセットする



ご注意

- カップは高さ7～10cm、容量250mL以上のものを使用し、必ずカップトレイの上に確実に置く。またカップを本体に直接セットしない。コーヒーがあふれて、やけどや故障の原因。



- 熱に弱い素材のカップは使用しない(耐熱温度120度以上のもの)。変形のおそれ。
- カップの形状や置きかたによっては、コーヒーが飛び散るおそれ。
- フィルターよりも先にカップトレイをセットしない。開閉レバーが正しく作動せず、フィルターの抽出口が開かなくなりコーヒーがあふれる原因。

6 水タンクに水を入れ、本体に確実にセットする(P.9)

水を入れるときは、必ず水タンクを本体からはずします。本体にセットしたまま水を入れると、水管に水が流れ込み、抽出量が多くなります。

水タンクを目盛  まで水を入れます。

ご注意

- 水タンクをセットしたあとは、本体からはずさない。本体内にたまった水が逆流して、水もれや故障の原因。
- 水タンクにお湯や熱湯を入れない。故障の原因。
- 水タンクを本体にセットしたまま水を入れるとカップからコーヒーがあふれるおそれ。

5 コーヒーをいれる(カップに直接ドリップ)

7 スイッチが「OFF」になっていることを確認する(パイロットランプが消灯)(P.10)

8 差込プラグをコンセントに差し込み、スイッチを「ON」にしてパイロットランプの点灯を確認する(P.10)

パイロットランプが点灯してから約30秒後にドリップが始まります。

ご注意

- ドリップ中に本体ふたをあけない。吐出口が動き、抽出口以外からお湯がこぼれてやけどのおそれ。



- ドリップ中に差込プラグを抜かない。誤って抜いた場合は、いったんスイッチを「OFF」にして、手順8からやり直す。
- ドリップ中にカップを取り出さない。コーヒーがこぼれてやけどや故障のおそれ。
- ドリップを途中で止めるときは、スイッチを「OFF」にする。しばらくはドリップが続くため、お湯や蒸気が完全に止まるまで待つ。

9 お湯や蒸気が完全に止まったら、スイッチを「OFF」にしてカップを取り出す

ご注意

- 水タンクの水がなくなっても、しばらくはドリップが続くため、お湯や蒸気が完全に止まるまで待つ。カップトレイにコーヒーが落ちるおそれ。

- 熱めのコーヒーを飲みたいときは、あらかじめ熱湯などでカップを温めておきます。
- 抽出後は保温しない。

10 差込プラグをコンセントから抜く

11 冷めてからフィルターとカップトレイを取り出す

ドリップ後のコーヒー粉はペーパーフィルターごと取り出す。

ご注意

- ドリップ後に本体上部にたまったお湯は、冷めてからふき取る。

できあがり時間の目安

約3分でできあがります。

できあがり時間は、室温・水量・コーヒー粉の量などによって変わります。

続けてつくるときは

- ① 本体が冷めるまで約10分待つ。
- ② 必ず最後に水タンクをセットして再度ドリップする。

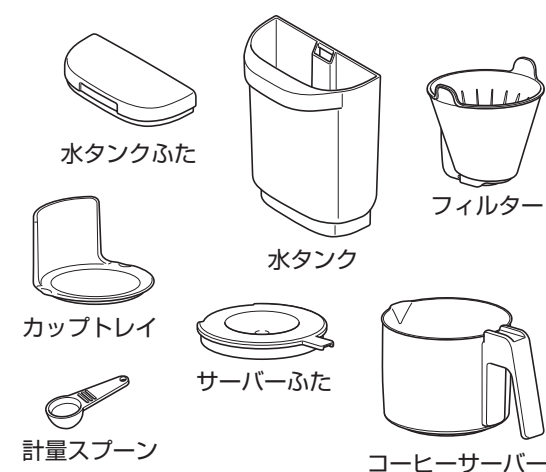
6 お手入れする

長持ちさせるために、こまめにお手入れして清潔を保ってください。

- お手入れは、差込プラグを抜き、本体が冷えてから行う。
- 洗剤でお手入れするときは、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使い、十分に洗い流す。洗剤分が残っていると、樹脂などの劣化・変色の原因になりますので、十分に洗い流してください。
- お手入れにはスポンジ・歯ブラシ・やわらかい布を使う。

使うたびに洗う部品

以下の部品は、使うたびに必ず洗ってください。

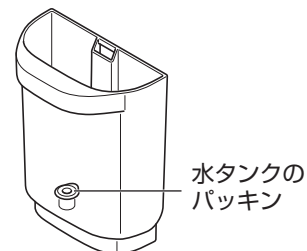


1 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジや歯ブラシを使って洗い、水ですすぐ

2 乾いた布で水分をふき取り、十分に乾燥させる

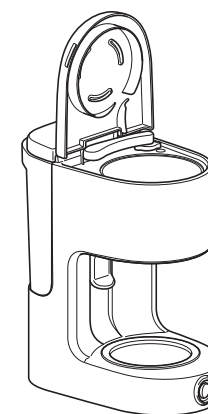
ご注意

- シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどを使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器、熱湯などは使わない。
- 水タンクのパッキンははずさない。水もれの原因。



汚れるたびにお手入れする箇所

<本体>



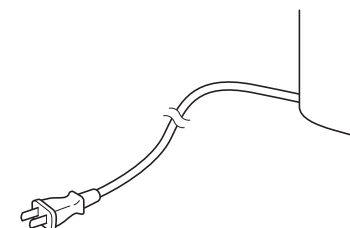
1 洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふく

2 乾いた布で水分・洗剤分をふき取り、十分に乾燥させる

ご注意

- 本体を水につけたり、水をかけたりしない。
- 吐出口に汚れが付着した場合はふき取る。
- 本体上部は汚れやすいのでこまめにお手入れする。

<電源コード・差込プラグ>



1 乾いた布でふく

使
い
か
た

6 お手入れする

お湯の出具合が悪くなったとき・いつもより抽出時間が長くなる時

クエン酸を使って本体内を洗浄する。

1 フィルターとコーヒーサーバーを本体にセットする(P.8~9)

ペーパーフィルター・コーヒー粉はセットしない。

2 水タンクにクエン酸約10g(大さじ1杯)を入れ、の目盛「5」まで水を入れてまぜる

3 ドリップする(P.10)

4 クエン酸水がの目盛「2」まで減ったら、スイッチを「OFF」にする

5 約10分たったら、水タンクに残ったクエン酸水ですてて、すぐ

6 コーヒーサーバーのお湯ですてる

7 クエン酸水のおいをとるために、水タンクのの目盛「5」まで水を入れ、1~4回ドリッブする

ペーパーフィルター・コーヒー粉はセットしない。ドリッブ後のお湯はすてる。

クエン酸のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または、「連絡先」(裏表紙)に記載のタイガーお客様相談窓口でお買い求めください。

品名	電気ポット内容器洗浄用クエン酸(約30g×4包入り)
品番	PKS-0120

※洗浄用クエン酸は、食品添加物につき、食品衛生上無害です。

7 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなときは	ご確認くださいこと	直しかた	参照ページ
スイッチを「ON」にしてもランプがつかない。	▶ 差込プラグをコンセントに差し込んでいますか。	▶ 差込プラグをコンセントに差し込む。	▶ 10
	▶ スイッチを確実に押して「ON」にしていますか。	▶ スイッチをゆっくり確実に押す。	▶ 10
お湯が出ない。	▶ 水タンクに水が入っていますか。	▶ 水タンクに水を入れる。	▶ 9
	▶ 水タンクが確実にセットされていますか。	▶ 水タンクを確実にセットする。	▶ 9
	▶ 抽出口に汚れが付着していませんか。	▶ お手入れする。	▶ 13
お湯の出具合が悪い。お湯がにおう。	▶ —	▶ クエン酸を使って本体内を洗浄する。	▶ 上記
コーヒーが抽出されない。本体からあふれる。	▶ フィルターが浮いていませんか。	▶ フィルターが浮いていないことを確認して本体ふたを確実にしめる。	▶ 8
	▶ 本体ふたが確実にしまっていますか。	▶ コーヒーサーバーまたはカップトレイを確実にセットする。	▶ 9 ▶ 11
	▶ 開閉レバーが確実に押されていますか。		
コーヒーサーバーからコーヒーがあふれる。	▶ 水タンクに水を入れすぎていませんか。	▶ 水タンクの  の目盛「6」を超えて水を入れない。	▶ 9
	▶ フィルターをセットしていますか。	▶ フィルターを確実にセットする。	▶ 8
カップからコーヒーがあふれる。	▶ 水タンクに水を入れすぎていませんか。	▶ 水タンクの  の目盛を超えて水を入れない。	▶ 11
	▶ カップトレイ・カップが確実にセットされていますか。	▶ カップトレイ・カップを確実にセットする。	▶ 11
	▶ 指定のカップを使用していますか。	▶ 指定のカップを使用する。	▶ 6 ▶ 11
コーヒーが薄い。	▶ ペーパーフィルターがフィルターの上からはみ出していないですか。	▶ はみ出さないように確実にセットする。	▶ 8

こんなときは	理由	参照ページ
コーヒーがぬるい。	▶ 抽出したコーヒーの量が少ない(1~2カップ)と冷めやすくなります。	▶ 10 ▶ 12
	▶ 寒冷地など、使用環境の厳しい状況では、十分な保温効果が得られない場合があります。	▶ —
樹脂部品にキズ(欠け)のように見える部分がある。	▶ 樹脂形成時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。	▶ —
樹脂などのにおいがする。	▶ 使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。	▶ —

消耗品・別売品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様相談窓口、消耗品・別売品のご購入専用ホームページでお買い求めください。

◆樹脂部品(傷んできたとき)

◆コーヒーサーバー(破損したとき)

熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があるので交換してください。(有償修理)

仕様

電源	消費電力 (W)	満水容量* (L)	抽出方式	外形寸法* (cm)			質量* (kg)	コードの長さ* (m)
				幅	奥行	高さ		
100V 50-60Hz	550	0.81	ドリップ式	サーバー使用時			1.6	1.2
				13.8	27.3	27.9		
				カップトレイ使用時				
				13.8	24.4	27.9		

*印は、おおよその数値です。

保証とサービスについて

修理を依頼される前にまず「故障かな?と思ったら」(P.14、15)をご覧ください。

それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。(消耗品は除きます。)

保証書の記載内容に基づき修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼される時

保証期間内 … おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間を過ぎていて … まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。
①製品名 ②品番 ③製品の状況(できるだけくわしく)

4 コーヒーメーカーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料 … 不具合内容の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業(修理および部品交換・調整・修理後の点検など)の料金です。

部品代 … 製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。